

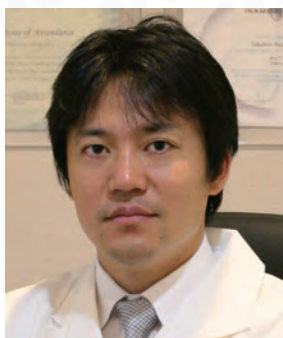
第57回日本形成外科学会総会・学術集会 イブニングセミナー5【ES5】

進化する炭酸ガスフラクショナルレーザー 治療の幅広い汎用性とその将来性

日時：**4**月**10**日（木）16:00~17:00

会場：長崎新聞文化ホール 真珠の間

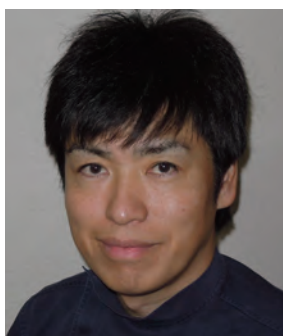
座長：**中塚 貴志** 先生（埼玉医科大学形成外科 教授）



演題

リサーフェシング治療における 炭酸ガスフラクショナルレーザーの工学的解析

演者：**藤本 幸弘** 先生（クリニックF）



演題

SmartXide DOT の 臨床効果と今後の展望

演者：**林原 伸治** 先生（林原医院）

講演抄録を裏面に記載しておりますので、是非ご覧ください。



共催：第57回日本形成外科学会総会・学術集会



株式会社 DEKA JAPAN

〒107-0062 東京都港区南青山 2-21-37

[TEL] 03-5785-2133

[URL] www.dekajapan.jp

[E-mail] info@dekajapan.jp

リサーフェシング治療における 炭酸ガスフラクショナルレーザーの工学的解析

2007年より市場に投入された数多くのフラクショナルCO₂リサーフェシングレーザーは、当初はダウンタイムと色素沈着が問題視されたものの、機器のスキヤナ機能の改良やパラメータの研究など7年の歳月を経て、アジアンスキンの市場においても安全にリサーフェシング施術ができるようになったと認知がされた。

2010年4月に米国アリゾナ州フェニックスで開催された米国レーザー医学会(ASLMS)でニューヨーク州のDr. Bruce Katzが発表した演題は、SmartXide

DOT皮膚の収縮の強さを利用した新しい上眼瞼挙上術の発表であり、この施術は通称「マドンナリフト®」として米国美容市場で広い認知を得た。一概にCO₂フラクショナルレーザー機器といえども、皮膚の収縮のためのパラメータは、フルレンス、パワー、照射密度、パルス幅とさまざまであるが、本セミナーでは収縮のためのレーザーパラメーターを、パルス波形を変換できるスマートサイド・スクエアを使用し工学モデルを用いて解析し結果を得たため、これも含めて報告する。



藤本 幸弘 先生 (クリニックF)

【ご経歴】

1995年 信州大学医学部卒業
1995年 東京大学医学部附属病院 研修医
2004年 東京大学大学院医学系研究科修了 医学博士授与
2004年 東京大学医科学研究所附属病院 東京大学助手
2007年 クリニックF 院長
2013年 東海大学大学院総合理工学研究科修了
工学博士授与

【所属学会・資格】

米国レーザー医学会 (ASLMS)
Fellow
米国皮膚科学会 (AAD)
Member
欧州皮膚泌尿器科学会 (EADV)
International Member

SmartXide DOT の臨床効果と今後の展望

DEKA社製 SmartXide DOT は2段階ピークパルス波形(スマートパルス)を有し、Power、Dwell time(パルス幅)、Dot pitch(照射点間距離)、Stack mode(同一点連射モード)の4つのパラメーターの組み合わせを自由に変更できることが特徴である。それにより各種疾患に広く対応できオーダーメイドの治療が可能である。このスマートパルスは皮膚に対する収縮率が高く、それを利用した「まぶたのたるみ治療」、「眼瞼周囲の若返り治療」としてマドンナリフト®が報告されており、その効果と長期経過についても報告する。

また、陳旧性瘢痕としてニキビなどの陥凹性瘢痕、リストカットなどの線状瘢痕に対する治療プロトコルおよび経過について述べる。さらに新しい治療として、この皮膚収縮率の大きさを利用した睫毛内反症治療にも応用可能と考えられ、今後も新しい分野での応用が期待される。

フラクショナル用のスキヤナーに加えてサージカルモードハンドピースを備えているため、汎用性が高いレーザーであり、是非備えておきたいレーザー装置の一つである。



林原 伸治 先生 (林原医院)

【ご経歴】

1991年 川崎医科大学卒業
1991-1992年 鳥取大学皮膚科入局
1992-1994年 川崎医科大学形成外科入局
1994-1997年 国立病院四国がんセンター勤務
1997-1999年 姫路日赤病院
1999年～ 林原医院 形成外科・美容外科ご開業

【所属学会・資格】

日本形成外科学会 専門医
日本皮膚科学会
日本美容外科学会
日本アンチエイジング医療学会